

様式5（研究評価用）

平成20年度三重大学COEプロジェクト研究評価結果通知書

区 分	<input type="checkbox"/> 世界れる世界トップレベルの研究拠点 <input checked="" type="checkbox"/> 学部として育てたい国内トップレベルの研究
研究 題 目	感性システムの構造化とそれを基盤としたアクションリサーチ的アプローチの可能性の探究 ～「感じる力」を培う教育モデルの開発に向けて～
研究代表者	教育学部 根津 知佳子 准教授
総 括 評 価	<div style="text-align: center;"> A B C </div>
コ メ ン ト	<p>○構成メンバーの連携が最もよくなされているプロジェクトとして評価できる。三重大学の教育目標「感じる力」を培う教育モデルの開発という本学独自性を高める研究成果をあげるにとどまらず、学会レベルでも評価されている点は評価出来る。学部のバックアップ体制もよい。</p> <p>○感性のフレームワークの考案と「感じる力」を培うための教育モデルを開発するという目的に対する研究が意欲的になされ、一定の成果が示されていると考える。しかし、教育的営みや感性がすぐれて主観的であることに起因する研究成果の創出の困難さを感じる。学部のバックアップ体制は堅実であり、若手人材養成も機能的に進められているが、その他の項目、とりわけ今後の展望については、「感じる力」とは何か（定義）を明確にして取り組む必要があると思われる。</p> <p>○「感じる力」を培う教育モデルを学術的に検討・実践し、当初の研究計画と目標は概ね達成されている。今後「考える力」、「生きる力」、「コミュニケーション力」との関連性・協調性についても検討し、多くの教育現場への展開を期待したい。</p>